

2021年度

全国高校野球OBクラブ連合総会 議事録

日 時 2021年12月 3日 (金曜日) 15:00~17:00

場 所 ホテルヒューイット甲子園・甲陽の間 (2階)

<議 題>

- 1) 2020年度全国高校野球OBクラブ連合事業報告  
資料1-1: 2020年高校野球支援事業  
資料1-2~4: 2020年高校野球都道府県大会支援金寄付  
資料1-5: 全国高校野球OBクラブ連合地方リーグ支援事業  
資料1-6: 感謝状
- 2) 2020年度全国高校野球OBクラブ連合決算・監査報告  
資料2-1: 全国高校野球OBクラブ連合2020年度決算・監査報告
- 3) 2021年度全国高校野球OBクラブ連合事業報告  
資料3-1: 全国高校野球OBクラブ連合加盟校一覧  
資料3-2: マスターズ甲子園2021本大会概要  
資料3-3: マスターズ甲子園2021本大会リリース資料
- 4) 2021年度全国高校野球OBクラブ連合途中決算報告  
資料4-1: 全国高校野球OBクラブ連合2021年度途中決算報告  
資料4-2: マスターズ甲子園実行委員会2021年度途中決算報告
- 5) マスターズ甲子園2022大会追加枠  
資料5-1: マスターズ甲子園2022大会追加枠  
資料5-2: マスターズ甲子園2022大会追加枠抽選方法
- 6) 2022年度全国高校野球OBクラブ連合事業・予算案  
資料6-1: マスターズ甲子園2022本大会プログラム案  
資料6-2: 全国高校野球OBクラブ連合2022年度予算案  
資料6-3: マスターズ甲子園実行委員会2022年度予算案
- 7) マスターズ甲子園2023大会追加枠・ブロック枠  
資料7-1: マスターズ甲子園2023大会追加枠・ブロック枠  
資料7-2: 全国高校野球OBトーナメント (第10回大会)  
資料7-3: 全国高校野球OBトーナメント (第20回大会)
- 8) 次期 (2022-2023) 役員選出案について  
資料8-1: 2022-2023年度全国高校野球OBクラブ連合役員案
- 9) その他 (報告事項)  
資料9-1: ワールドマスターズゲームズ2021関西再延期について
- 10) マスターズ甲子園2022追加枠確定および組み合わせ抽選会  
補足資料: マスターズ甲子園2022ガイドブック

○定刻より全国高校野球OBクラブ連合 長ヶ原 誠 理事長（以下、理事長と称す）の司会で、2021年度総会開催のあいさつを行い総会を開催した。

1、全国高校野球OBクラブ連合 特別顧問 樽谷清太郎 挨拶。

昨年は新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止となり今年度のマスターズ甲子園2021大会は素晴らしい大会にする為に皆様の協力をお願いしたい。皆さんの力で成功させまじょうと陳べられた。

2、定足数の確認。

理事長より、加盟都道府県41、総会出席22、遠隔による出席3、委任状受理16、総数41との報告で、総会出席者25であるので、全国高校野球OBクラブ定款30条の総数の3分の1以上の出席があり、本総会は成立するとの報告があり承認された。

3、議長選出。

理事長より自薦・他薦により推薦を求めたが理事会一任との事で、理事会より高山理事（関東ブロック、神奈川県）（以下、議長と称す）を議長として選出し承認した。

4、議題確認。

議長が席に着き議題の確認をして議事進行に入る。

○議 題

1. 議題1、2020年度全国高校野球OBクラブ連合事業報告

○資料1-1：1-2～4：1-5：1-6を一括説明で、理事長より、高校野球支援事業の内容と支援金641万円の報告と、各都道府県OBチーム、協力団体、個人からの支援金109万円の報告があり、合計750万円を日本高等学校野球連盟への支援事業として行い同連盟より感謝状を頂いたことの報告をして承認された。

2. 議題2、2020年度全国高校野球OBクラブ連合決算・監査報告

○資料2-1：全国高校野球OBクラブ連合2020年度決算・監査報告

理事長より収入合計928万円（新規加盟16万円・年会費643万円・事業寄附金109万円・協賛金150万円・助成金10万円）支出は、高校野球支援事業（印刷・郵送費込み）8,287,221円・事務局運営費813,432円・支出合計9,100,653円で貯蓄費160,000円・予備費19,347円・支出総計9,280,000円との報告がされた。

監査報告に進み、監査役の北野賀大氏より帳票等を精査した結果、適正に処理されている事の報告がされ、質疑応答で埼玉県野澤様よりの質問。

質 疑

○埼玉県、野澤様より、貯蓄費とあるが今後もこの言い方をするのかとの質問。

理事長より、支出として処理して最終的には積立金としての計上になるとの説明をして了解を頂き、拍手をもって承認された。

### 3. 議題3、2021年度全国高校野球OBクラブ連合事業報告

○資料3-1：全国高校野球OBクラブ連合加盟校一覧

○資料3-2：マスターズ甲子園2019本大会概要

○資料3-3：マスターズ甲子園2021本大会リリース資料

理事長より資料3-1、3-2、3-3、の一括説明で、資料3-1、新型コロナウイルス感染の影響で新規加盟校が例年に比べて少なく、12月3日現在で42都道府県696校の加盟校との報告と、資料3-2、大会概要では新型コロナウイルス感染の影響があり各都道府県では地区大会の運営に苦慮された事の報告と、大会2日目の第5試合、島根県対岐阜県の対戦で、両チームより新型コロナウイルス感染の影響で大会を辞退したいとの申出があり、11月3日に開催された理事会に於いて色々な方向から協議をした結果、辞退を受理する事を説明して、資料3-3、プレスリリースでは、元プロ野球選手が6名参加する事とその中で元阪急ブレーブスの山田久志氏（能代高校OB）、元阪急ブレーブスの佐藤義則氏（函館大有斗高校OB）の紹介があり、又、昨年の102期生の出場選手の紹介があり、注目をして頂きたいとの説明があり拍手を持って承認された。

### 4. 議題4、2021年度全国高校野球OBクラブ連合途中決算報告

○資料4-1：全国高校野球OBクラブ連合2021年度途中決算報告

○資料4-2：マスターズ甲子園実行委員会2021年度途中決算報告

理事長より資料4-1、4-2を一括して説明があり、資料4-1では収入合計647万円（新規加盟4万円・年会費643万円）支出は、マスターズ甲子園補助金4,810,319円、連合運営費等912,860円、事務局運営費211,000円、理事会関連費486,430円、支出合計6,420,609円で貯蓄費4万円、予備費9,391円で支出総計6,470,000円との報告があり、貯蓄費4万円（新規加盟費）と予備費9,391円は積立金に充当して、現状の残高は2,945,676円との報告に続き。資料4-2、理事長より収入合計20,141,819円、で内訳は、連合補助金4,810,319円、参加料（800万円）、キャッチボール（開催中止）、共催・協賛金（510万円）、広告・寄付・助成金（205万円）、収益金（181,500円）であり、支出合計は20,133,201円で内訳は、球場費11,896,260円、大会広報・印刷・諸準備費4,830,319円、大会運営費2,762,362円、大会事務局費644,260円、予備費8,618円での途中決算報告がされて、特別協賛社がアシックスジャパン株式会社からミズノ株式会社に変更とサントリービール株式会社、パナソニック株式会社の業況説明があり、また、新型コロナウイルスの影響でボランティアスタッフの参加人数の減少により大会運営費の減少と大会グッズ販売をミズノによる直接販売に変更した事によるグッズ購入費の減少の説明があり、質疑応答で東京都藤田様よりの質問。

## 質 疑

○東京都、藤田様より、大会参加料は800万円ではなく900万円ではないかとの質問。

理事長より、金額の記入間違いであり、後日訂正した途中決算報告書を送付するとの事でご理解を頂く。

○埼玉県、神田様より、参加チーム数の確認で20チームが18チームの参加との質問。

理事長より、大会概要での説明通り2チーム減の18チームの参加との回答で理解を頂く。

上記の事を踏まえて拍手をもって承認された。

## 5. 議題5、マスターズ甲子園2022大会追加枠

○資料5-1：マスターズ甲子園2022大会追加枠

○資料5-2：マスターズ甲子園2022大会追加枠抽選方法

理事長より、資料5-1、5-2の一括の説明があり、資料5-1では一昨年に決定している9都道府県の確認と今年度は新規の加盟都道府県が無い事の説明により、残りの枠は11と決定して、追加枠の応募に20の都道府県から申出があり抽選になるとの説明があった。続いて資料5-2の通りでの抽選表数で行う事の説明をして質疑応答はなく拍手をもって承認された。

## 6. 議題6、2022年度全国高校野球OBクラブ連合事業・予算案

○資料6-1：マスターズ甲子園2022本大会プログラム案

○資料6-2：全国高校野球OBクラブ連合2022年度予算案

○資料6-3：マスターズ甲子園実行委員会2022年度予算案

理事長より、資料6-1、6-2、6-3の一括説明で、資料6-1では本来の大会日程に戻す予定との事と、プログラムも復活させる予定との説明があったが、今後の社会情勢を見ながらの判断をさせて頂くとの説明もあった。資料6-2では、理事長より、2021年度の間接報告を踏まえての予算案の説明で、収入合計675万円(新規加盟費16万円・年会費659万円)、支出合計675万円(大会補助費470万円・総会関連費87万円・事務局運営費17万円・理事会関連費85万円)貯蓄費16万円の説明をして、今回から理事会関連費の内訳として理事活動費の項目を追加する事の説明があり、続いて、資料6-3では、理事長より2021年度の間接報告を踏まえての予算案の説明で、収入合計22,388,168円(大会補助費470万円・大会参加費1000万円・キャッチボール参加費100万円・共催・協賛・広告・寄付・助成金615万円・収益金53万円・繰越金8,168円)支出合計22,388,168円の内訳で、(球場費

1165万円・広告、印刷、諸準備費470万円・大会運営費415万円・大会事務局費1,888,168円の説明をして、印刷関係でガイドブックのページ数の減少とボランティアスタッフの参加減と大会グッズ販売の見直しによる減額案との説明と現状の各協賛社等への継続要請と新規協賛社への協力要請活動を行っていく事の説明をして、質疑応答で樽谷特別顧問よりの質問。

#### 質 疑

○樽谷特別顧問、感染対策についてと今後の対応についての質問があり。

理事長より、今回の対応がベースになり大会運営には万全の体制で臨む事の説明をして理解をして頂き拍手をもって承認された。

#### 7. 議題7、マスターズ甲子園2023大会追加枠・ブロック枠

○資料7-1：マスターズ甲子園2023大会追加枠・ブロック枠

○資料7-2：全国高校野球OBトーナメント（第10回大会）

○資料7-3：全国高校野球OBトーナメント（第20回大会）

理事長より、資料7-1、7-2、7-3の一括説明で、2022年度の追加枠の抽選結果を元に2023年度の追加枠の申込申請を行います。新規加盟の都道府県は優先的に出場出来ることの説明があり、続いて資料7-2、7-3の説明で、第10回大会のトーナメント大会をベースにして第20回大会のトーナメント大会を開催することの説明で6ブロックの代表はブロック枠での出場出来る事として、現在8校以下の都道府県もブロック大会には出場出来る事として、出場したらの年会費の対象とする事の説明があり、質疑応答で福岡県阿志賀様より質問。

#### 質 疑

○福岡県、阿志賀様、年会費の発生するタイミングはいつかとの質問。

理事長より、エントリーフィーではないことを説明して了解して頂いた。

○熊本県、小田様、2023年だけではないかとの質問。

理事地様より、エントリーフィーではないので参加をした年度より毎年発生するとの説明で了解して頂いた。

○福岡県、阿志賀様、加盟校増加のためのきっかけとして8校に見たっていなくても加盟校を増やすために、加盟県を増やすために4校に見経った時点で、2県出場の案を考えて頂きたい。

理事長より、マスターズ甲子園の加盟チーム数の事、予選大会の基準をしっかりとしたもの柔軟に対応していくことが今後の課題であり議論を継続して行く事で了解して頂く。

○鳥取県、藤原様、トーナメント大会は単独チームでの参加のみかとの質問。

理事長より、原則単独チームでの参加とする事を説明して了解して頂く。

○高山議長より、大会の活性化と共に早い時期に8校にして頂く手段と、統廃合の件の特例も含めて今後の課題を克服して行く議論を進めていく説明をする。

○愛媛県、北村様、ブロック大会の前倒しをしても問題はないかとの質問。

理事長より、問題ない。各都道府県の代表を期限までに決めて頂ければ良いとの説明で了解をして頂く。

○埼玉県、野澤様、主旨をはっきりとして頂いて、8校未満の都道府県の起爆剤になるのではとの質問。

理事長より、まさしくその通りとの説明で了解をして頂く。

質疑がなく拍手をもって承認した。

#### 8、議題8、次期（2022-2023）役員選出案について

○資料8-1：2022-2023年度全国高校野球OBクラブ連合役員案

理事長より、資料8-1の説明で、2022年度-2023年度の役員選出案が報告されて、質疑応答もなく拍手をもって承認された。

#### 9、議題9、その他（報告事項）

○資料9-1：ワールドマスターズゲームズ2021関西再延期について

理事長より、資料9-1の説明で全国高校野球OBクラブ連合の支援事業である「ワールドマスターズゲームズ2021関西」の再延期についての説明があった。

#### 総括しての質問

○徳島県、中川様、島根県と岐阜県の辞退について、

①出場を辞退する時期についてももう少し早く決められなかったのか。

②マスターズ甲子園に出場する事の重みについて、再認識して頂きたい。

以上の件を2県の幹事に伝えて頂きたいとの質問。

理事長より、参加の確認をしていたが新型コロナウイルスの感染拡大の影響を見ながらの対応であったため、11月3日の理事会でも色々な方向から議論をして最終決定をしたことを説明して、今回の総会で本件について、協議があったこと、質問が出たことを含めて、2県の幹事には連絡をする事を説明して理解を頂いた。

○東京都、林様、20周年記念大会に向けての貯蓄の仕方について、来年度から開催準備の一環として、貯蓄の仕方ですり多く貯めておくために変えていく必要があるのではないかとの質問。

理事長より、大会実行委員会（全国高校野球OBクラブ連合）からシリーズに向けて負担するのは、ブロック大会（東・西決定戦を含めて）以上の運営経費を想定していて、前回の記念大会での費用（300万円）をベースに、今回の予算を確定していることを説明して理解して頂く。

その他質疑応答がなく拍手をもって承認して頂いた。

10. 議題10、マスターズ甲子園2022追加枠確定および組み合わせ抽選会

○マスターズ甲子園2019大会の組み合わせ抽選会を行い下記の通り決定し承認された。

第1日目（土曜日）			第2日目（日曜日）		
第1試合	鹿児島県代表	対	埼玉県代表	第1試合	熊本県代表 対 三重県代表
第2試合	群馬県代表	対	宮城県代表	第2試合	奈良県代表 対 宮崎県代表
第3試合	沖縄県代表	対	岩手県代表	第3試合	和歌山県代表 対 長野県代表
第4試合	福岡県代表	対	鳥取県代表	第4試合	愛媛県代表 対 大阪府代表
第5試合	福島県代表	対	徳島県代表	第5試合	愛知県代表 対 島根県代表

以上を以って議案の審議が終了したので議長は全議案の承認を出席者に確認し終了を宣言し、理事長の閉会の挨拶の後、17時47分に閉会した。

尚、議事の経過並びに結果を明らかにするために、議長である高山（神奈川県）が本議事録を作成し及び総会出席者2名と計3名の署名押印をする。

2021年12月19日

議事録作成者

高山伸紀

(神奈川県)



2021年12月19日

議事録署名人

早川昭次

(愛知県)



2021年12月24日

議事録署名人

阿志賀浩一

(福岡県)

